

各会議の議事録

1. 第21回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録（平成29年2月2日）・・・P2
2. 第45回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会（平成29年3月14日）・・・P5

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第 21 回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●平成 29 年 2 月 2 日（木）9:30～11:30、イコス上尾

【議事結果】

- ① 維持管理計画(案)の内容すべて実施するのは困難なため、優先順位をつけて当面実施する場所を選定する。委員長と事務局で優先的な実施箇所を絞り込み、リーダー候補を考えて個別に調整し、実施日を設定する。スタッフについては、協議会に広く参加を呼びかける。
- ② 企業の CSR 活動の場としての活用については、活動の成果が企業にとってわかりやすくアピールできるものだと対応してくれると考えられる。ニーズはあるので、そこに向けた広報に取り組む。広報 WG で方策を検討する。企業の活動の受け皿の体制を確保する必要がある。
- ③ 4/8 の 3 地区合同イベントについては、各関係者と調整を図って詳細を決定する。
- ④ 秋のイベントについては、外来種の草抜きと昆虫観察を基本案とする。開催日は 10/21（土）を仮設定する。
- ⑤ かわじま輪中ウォーキングにおける太郎右衛門橋下のルート変更(案)の協議については、所管の川島町教育委員会へ相談に伺う。
- ⑥ 2/12 の維持管理イベントは、本日が参加申し込みのメ切であるが現時点で申込ゼロであるため、各委員で参加者を募る。
- ⑦ ハンノキの幼木移植は2/12 イベント終了後に有志で実施する。1時間程度の作業を予定する。
- ⑧ 管理用通路・看板については、事務局でとりまとめた内容で協議会に提案する。
- ⑨ 今年度工事箇所の状況と今後の対応については、事務局案の内容で協議会に提案する。
- ⑩ オブザーバー視察は、委員長と事務局で、候補を決めて実施することとする。
- ⑪ エコロジカルネットワークの検討方針について、委員から意見を紙面で頂いた。新たな組織を立ち上げて検討することは現実的ではないため、維持管理・環境管理専門委員会でエコロジカルネットワークについて検討する。
- ⑫ エコロジカルネットワークに入間川・古谷上（握津）を追加してほしいとの意見が出された。

【主な議事内容】

◎報告事項

●各会議の議事録

- ・ 質疑無し。

●マーケットリサーチ実施状況と予定について

- ・ 今後も粘り強く続けていくこととする。

◎協議事項

●維持管理計画について

- ・ 維持管理計画(案)にある内容すべてを実施するのは困難なので、優先順位をつけて当面実施する場所を選定する。
 - 事務局としては、「呑口」「導水路」「柵」等の構造物周辺については現時点で機能を果た

さないわけではないので、それよりも「上池の整備地」「中池の保全エリア」「下池ハンノキ移植地」の状態が悪くならないようにこれらを優先的に実施した方が良いと考える。さらに後者については、「上池の整備地」と「下池ハンノキ移植地」の方がより優先度が高いと考える。

- 委員長と事務局で優先的な実施箇所を絞り込み、リーダー候補を考えて個別に調整し、実施日を設定する。スタッフについては、協議会に広く参加を呼びかける。
- 荒川上流河川事務所で予算を確保することを考えて欲しい。また、助成金の活用も考えたい。プロに頼める方法を考えたい。
- 荒川上流河川事務所では、維持管理については協議会の対応事項と考えている。
- ボランティアを募る際、なぜ国有地で維持管理を実施しなければならないのか等理解しづらい部分がある。その感覚を変えるような取り組みも必要である。
- 高校などの学校が参加してくれると良い。
- 既存の団体はその団体が抱えているやるべきことがあるので、ほかのことを実施するのは難しい。
- 企業については、成果がわかりやすくアピールできるものだと対応してくれると思われる。ニーズはあるので、そこに向けた広報に取り組む必要がある。広報WGで取り組んで欲しい。またそのためには、受け皿としての組織体制をしっかりとっていく必要がある。

●H29 のイベント内容・スケジュールについて

- ・ 4/8 の3 地区合同イベントについては、各関係者と調整を図って詳細を決定する。
- ・ 秋のイベントについては、外来種の草抜きと昆虫観察を基本案とする。開催日は 10/21 (土) を仮設定する。なお、コストに関しては、このイベント単体で参加人数に比して評価するのではなく、この事業全体におよぶ効果の面で考えるべきである。削るところは削るが、安全管理やトイレなどについては確保することが望ましい。備品は揃ってきたのでこれを活用し、危険度が高く内容に不確実性の多い魚類関係は実施しないこととし、材料費や準備に手間がかかる食べ物系も実施しないこととする。
- ・ 自治体イベントへの出展については継続して実施する。
- ・ かわじま輪中ウォーキングにおける太郎右衛門橋下のルート変更(案)の協議については、川島町教育委員会へ相談に伺うこととする。

●2月の維持管理イベントについて

- ・ 本日がメ切であるが現時点で申込ゼロであるため、各委員でイベントチラシ等の募集情報を拡散して参加者を募る。

●ハンノキ幼木の移植について

- ・ イベントが終了後、有志で引き続き実施する。1 時間程度の作業を予定する。

●管理用通路・看板について

- ・ これまでの検討結果のまとめを確認した。この内容を協議会に提案する。

●今年度工事箇所状況と今後の対応について

- ・ 現地で検討した結果に基づく事務局案を確認した。この内容を協議会に提案する。

●オブザーバー視察について

- ・ 委員長と事務局で、声をかける方を決めて実施することとする。

●エコロジカルネットワークの検討方針について

- ・ 委員から提出の意見を確認した。現在の協議会メンバーでこのテーマを独自に取り扱う組織を新たに立ち上げるのは現実的ではないため、当面、維持管理・環境管理専門委員会がこのテーマを取り扱っていく方針を協議会に提案する。
- ・ エコロジカルネットワークに入間川・古谷上（握津）を追加してほしいとの意見が出された。

以上

第 45 回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録

●平成 29 年 3 月 7 日(火) 18:30～20:30、上尾市プラザ 22

【議事結果】

- ① 平成 29 年度のモニタリング計画案を了承する。
- ② 全体構想、実施計画書の見直しについては、前回協議会意見を踏まえた維持管理・環境管理専門委員会の変更提案を了承する。
- ③ 寄付金等管理事務局については、前回協議会で委員より推薦のあった埼玉県生態系保護協会にて「受諾」の回答があり、寄付金等管理事務局設置について推薦の内容で了承する。
- ④ 下池の掘削は、予算の範囲内で効果的な整備を行うために、コンクリートガラ等のゴミが埋まってない他の場所を掘削することを検討する。試掘によって確認されたゴミの情報は、将来的にわかるようにしておくこと。
- ⑤ 看板と通路の配置(案)を了承する。
- ⑥ 維持管理計画(案)を了承する。
- ⑦ エコロジカルネットワークについては、当面の間、維持管理・環境管理専門委員会で検討していくことを了承する
- ⑧ 平成 29 年度のイベント案および活動予算案を了承する。
- ⑨ Facebook の発信方法は引き続き検討課題とする。

【主な議事内容】

◎協議事項

●第 44 回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録

(質疑応答無し)

●生態系モニタリング専門委員会の活動

- ・ 平成 29 年度のモニタリング計画案を了承する。

●維持管理・環境管理専門委員会の活動

<マーケット・リサーチについて>

- ・ 提案どおり、リサーチ対象の企業に声をかけていく。また、新たな候補について委員より情報提供していただく。

<オブザーバー視察について>

- ・ 本省河川環境課のミズベリング担当によるオブザーバー視察は、ミズベリングと自然再生では、性格が異なるため実現しなかった。引き続きリサーチ候補を検討する。

<2 月の維持管理イベントについて>

(質疑応答無し)

<全体構想、実施計画書の見直しについて>

- ・ 前回協議会意見を踏まえた維持管理・環境管理専門委員会の全体構想、実施計画書の見直し案を了承する。今後、改定に向けて関係機関との調整を行っていく。

<今年度工事箇所状況と今後の対応について>

- ・ 掘り出したコンクリートガラは処分するのではなく、河床低下している場所へ設置するなどの有効活用を考えて欲しい。太郎右衛門地区であれば中池からの流出水路の落差があるところが考えられる。また、整備地の法面に置けばヘビ類などが利用できる場になるのではないか。外部に搬出するエネルギーがもったいない。
 - 河床低下対策は、掘り出したコンクリートガラの利用ではなく、適切な材料を用いるべきである。
 - コンクリートガラを法面においた状態では、印象が悪く利用者が来てくれない。
 - 掘り出したコンクリートガラは処分すべきだと考えている。
- ・ 掘り出していないコンクリートガラ等のゴミについても掘り出して処分すべきではないか。
 - 埋まった状態でも有害物質の溶出がないことが確認できているため、お金をかけて掘り出して処分するのではなく、埋まったままでも良いと考えられる。
 - 予算には限りがあり、効果的に整備を行うためにも、今の掘削予定地にこだわる必要は無い。試掘によりゴミがあることが確認された場合は掘削場所の変更も含めて再検討する。
 - 荒川の河川敷ではゴミを埋められた場所が多く、他の適地はあまり無いかもしれない。
 - 予算に限りがある中で、効果的な整備のためにもゴミの無い場所を掘削することを検討する。試掘によって確認されたゴミの情報についてはわかるように整理しておく。

<看板・管理用通路について>

- ・ 看板と通路の配置(案)を了承する。
- ・ 看板の解説には英語を入れ、生物の表記には学名を併記する。

<維持管理計画について>

- ・ 当面だけではなく、将来のことも考える必要がある。通路・看板を整備すればその管理も必要になる。
 - 提案内容は、まずは当面やらなければならないものを計画しているものである。将来の維持管理計画は、組織体制と一緒に検討していく予定である。
- ・ 維持管理計画(案)を了承する。

<維持管理・環境管理専門委員会の予定について>

- ・ 当面、エコロジカルネットワークについては維持管理・環境管理専門委員会で検討していくことを了承する。
 - ・ エコロジカルネットワークについては全国フォーラムなどが開催されており、すばらしい取り組みと思われる。江戸川や利根川で先行しているが、荒川での取り組みはどのような予定か。検討に市民団体も加わりたい。
- 荒川でも自治体と一緒に進めて行く予定である。鴻巣市で進めている取り組みについて、太郎右衛門地区自然再生協議会に情報提供していきたい。

●広報WGの活動

- ・ 平成 29 年度のイベント計画案および予算案を了承する。
- ・ Facebook については担当者としてぜひ立候補して欲しい。
 - 経験上、担当者を固定すると発信が滞る。アカウントを共有し、その時々イベントに参加した方が、ホットな情報を発信する仕組みにするのが良い。
 - Facebook 担当者や発信方法については引き続き検討課題とする。

●その他

- ・ 寄付金等管理事務局については、前回協議会で委員より推薦のあった埼玉県生態系保護協会にて「受諾」の回答があったので、これを了承する。
なお、次の寄付金等管理事務局が決まるまでの当面の間の「受諾」との回答である。
- ・ 平成 29 年度のスケジュールについて、全体構想・実施計画書の改訂において必要があれば開催回数が増える可能性がある。
- ・ 「風景」を考えた整備を進めて欲しい。
- ・ 維持管理が必要とならないように水面を確保してほしい。

以上